第45回 Book

私のお薦めの一冊

経営者の方の特別な一冊をご紹介します

● 今月のご紹介者

株式会社 ハヤシセーラ　代表取締役社長　林　秀樹 氏

『銀二貫』

著／高田 郁　出版社／幻冬舎

［概要］
舞台は商人の町・大坂天満。主人公の松吉は仇討ちで父を亡くし、自分もあわや討たれるかというところを、偶然居合わせた寒天問屋・井川屋の主人・和助に銀二貫で救われた元武士の息子である。生きるため井川屋の丁稚となった松吉だが、武士を捨て、商人の道を歩むことに心が揺れていた…。大火で焼けた天満宮再建のためにかき集めた大切な銀二貫で松吉を救った主人の和助や、信心深いが故に松吉に辛くあたる番頭の善次郎から、商人としての厳しい修行と躾を受ける。そして、小さな寒天問屋の暖簾をめぐる数々の事件を乗り越え、松吉は商人の道をゆっくり歩みながら成長していく。得意先の料理屋の娘との淡い恋も絡め、関西風情たっぷりの空気感の中で、涙あり笑いあり恋愛ありの人情時代劇を描いている。

Q１：この本を手に取られたきっかけについて

出張の時に新大阪駅で手に取りました。新聞で紹介されていた記憶もあり「銀二貫」というタイトルにも惹かれました。話題の本であり、金額をタイトルという奇抜性に興味を惹かれ、お金＝商売＝ビジネスそんな思考回路が働きました。この本を手にしたのは偶然ではなく必然だったのかもしれません。

Q２：この本をお薦めしたい理由について

この本は単なる娯楽小説として読めばそれだけのものかもしれませんが、読み方を変えれば十分なビジネス教本だと思います。舞台は江戸時代後期の大坂天満宮の寒天問屋が舞台です。若い青年が商売をとおして「道徳」「人材育成」「技術開発」「商品開発」「市場調査」「ＢＣＰ」「ブレーン作り」「後継者育成」を経験し、そしてそれぞれにおいて「あきらめない強い心」の必要性が詰め込まれており、世の中において信頼関係がなければ成功などありえない、という作者の強い思いも伝わってきました。

私は、この本をドキドキしながら読みました。そして「読み終わってから自分も頑張ろう。松吉のように自分も、自分の思いを貫こう。松吉のような人生を歩みたい。」そう感じることのできる一冊でした。

Q３：どういった方にお薦めしたいですか

舞台は大阪です。小さな寒天問屋です。そんな環境を共有できる方。大阪の中小企業の方、特に次世代の経営者候補の方、そんな方に読んでいただきたいです。

株式会社 ハヤシセーラ
本　　社：大阪府東大阪市中石切町 7-4-52
資 本 金：2,000 万円
事業内容：精密シャフトの製造